

平成30年度 第1回 飛騨神岡高等学校
地域連携による活力ある学校づくり推進協議会 議事要旨

日 時	平成30年5月31日(木) 10:00~12:00
場 所	飛騨神岡高校 ゼミナール室
出席者 (敬称略、 委員名は 50音順)	<p>(委員)</p> <p>岩塚 藤嗣 飛騨市立神岡小学校 校長 上田 昌子 飛騨市企画部地域振興課 牛丸 昌弘 神岡鉱業株式会社 常務取締役 沖畑 康子 飛騨市教育委員会 教育長 上葛 健介 社会福祉法人神東会 事務局長(飛騨神サポーター) 菊田 昇司 北陸電力株式会社神岡営業所 所長 島田 紀子 飛騨神岡高等学校育友会 会長 清水 貢 飛騨市教育委員会 事務局長 下田 章 有限会社カワデン 代表取締役(飛騨神サポーター) 十松 昭英 飛騨市神岡振興事務所 所長 砂田健太郎 飛騨市企画部地域振興課 課長補佐 田口由加子 NPO法人神岡・町づくりネットワーク レールマウンテンバイク事務局 都竹 淳也 飛騨市長 出井 浩樹 牛丸石油株式会社 代表取締役 林 義成 飛騨市立山之村小中学校 校長 御手洗裕己 飛騨市企画部 部長 山口 郁夫 山口鉄工所 代表取締役(飛騨神サポーター) 渡邊登紀夫 飛騨市立神岡中学校 校長 和仁 邦雄 神岡商工会議所 専務理事</p> <p>(高校側)</p> <p>高田 広彦 飛騨神岡高等学校 校長 谷脇 浩彦 飛騨神岡高等学校 教頭 野村 宏治 飛騨神岡高等学校 事務長 松本 正人 飛騨神岡高等学校 教務主任 楯 幸司 飛騨神岡高等学校 進路指導主事 一ノ瀬伸郎 飛騨神岡高等学校 推進担当 中村 英樹 飛騨神岡高等学校 担当</p>
議事概要	<p>協議・意見交換「魅力ある高校となるために」</p> <p>(1) 魅力ある高校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台湾研修について希望者が少ない要因は？ <ul style="list-style-type: none"> → 説明会には10名を超える生徒が参加し、現在5名の生徒が希望している。本校については、部活動の大会などに関わる時期的なもの、研修自体に自信が持てない生徒もいる。しかし、本校としてはむしろ人数は多めに感じる。魅力がないわけではなく本校にとっては初の試みのため、来年度以降、今回参加した生徒の感想などを聞き変わってくる可能性もある。 ・ どんなことがあったら魅力につながるか。生徒からの要望などはあるか。 <ul style="list-style-type: none"> → 特にそれはないが、今年初めてということでコンセプトや目的がまだまだ明確にとらえられていないのではないかと。

- ・ 子供たちが神岡のどこかに誇りをもって、それを具体的に語れる子供たちを作りたいと考えているが、スーパーカミオカンデは実際に中が見えるわけでもなく理解するのも難しい。高校のKAGRAの見学はどのような見学の内容か？
→ コントロールルームでの説明と隣接する施設で講義を受ける。その後、坑道内を説明していただいている。
全体への説明や見学は難しいが、国立大学の工学部に合格したロボット部の2名の生徒の一人はKAGRAの先生方のアドバイスがきっかけで進路選択をしたり、2人は別の機会にもKAGRAを見学させていただき非常に良い勉強をさせていただいた。ただし非常に高度な内容なので、どの生徒にも理解できるかという点で非常に難しいと思う。
- ・ 何とかして子供たちが見学できないか。よく分からなくても見るだけでも価値があると思う。
- ・ 宙ドームの常設展神岡ラボが完成したら、高校生がその説明員として参加することでスーパーカミオカンデについて知ることになり、誇りが持てるようになるのでは。
- ・ 市で宇宙物理学支援枠を設け、職員を2名採用する。神岡ラボの説明員としても働いていただく予定であるが、飛騨神の生徒にもボランティアサイエンスコミュニケーターとして是非参加することを検討してほしい。
- ・ 少子化による部活の問題で統合チームは不可避の流れである。学校の統合ではなく、部活動の統合チームは絶対に考えなければならない。魅力ある高校づくりにも直結する。北稜と神岡など中学では行われつつある。飛騨神については他校と距離があるので難しい部分があるが吉城となど何らかの方策を検討してほしい。
- ・ ソフトボールは今年度、中京高校と合同チームを組んでいる。
- ・ 吉城とも検討してはどうか。吉城と行う場合、活動場所までへの移動手段が問題になると思うので、市として具体的な交通手段を検討したい。
- ・ 部活によっては高体連や連盟が合同を認めない部もあるので調整をしながら検討したい。
- ・ もし高体連が障壁になる場合は、市としても訴えたい。
- ・ 働き方改革もあり、柔軟に対応できるよう働きかけたい。

(2) 地域と連携した事業

- ・ 只今の授業参観の最中に、この3月に卒業した神中の卒業生に飛騨神の感想を聞いたら、複数の全ての生徒が授業や行事が楽しい。多くの子が授業が楽しい。難しいけどやりがいがあるとっていた。地域連携のポスターも素晴らしい。スキルだけでなく人間的な成長が本当に感じられる。レールマウンテンバイクのLED照明も地域のために高校生がこんな活動をするのが本当にうれしい。
- ・ 昨年度1年間は飛騨神にお邪魔する機会がなかったがこの1年のブランクの間にずいぶん発展した。地域とのかかわりが見える事業がとても良いなあと思うし地域に貢献できることは凄いですてきなこと。生徒が勉強したことが実生活で役立つところが生徒の自信につながる。レベルが非常に上がっていると感じる。
- ・ 地域に関わる学習への取組は素晴らしい。連携を継続して実施して行ってほしい。
- ・ 企業展は神中の2年生で行った。地域にどのような企業があるかを高校生が知ることは大切だと思う。自分の会社でも対応したい。この規模の学校でしかできないことがあると思う。
- ・ レールマウンテンバイクのトンネルLED装飾を含めPRが大切だと思うが、マスコミを上手に使う戦略はどこに相談すればよいのか。飛騨市の広報にお力添えをいただけないか。

- ・ ポスター制作や LED 装飾をやった生徒への地域からのフィードバックがあればいいと思う。
- ・ 県職員時代に高校へテレビカメラに積極的に入ってもらった。何の制約もない。市が関わって手伝うことも積極的にやらせていただきたい。ポスターも実費が必要ななら市が負担することも検討する。地域に飛騨神が飛び出す OPEN！飛騨神のような飛騨神 WEEK みたいなものを全市的に地域でできないか。
- ・ 簿記など市民が授業に参加できるシステムはできないか。

(3) 中学生や地域への広報、情報発信

- ・ ホームページが淡泊だと感じる。
- ・ ポスターやメニューなどを作った時に飛騨神岡高校が作ったことを PR する掲示などをどんどん行ってほしい。
- ・ 久しぶりに飛騨神へ来てみて活性化してきていることを感じた。ポスターが素敵だと思うが、制作過程も掲示してほしい。
- ・ 朝通勤時にバス停に飛騨神に生徒が楽しそうに待っている。高原郷という意味で北稜中との交流にも力を入れていただきたい。
- ・ 飛騨神は本当にいい学校だということを以前から私は感じている。神中の生徒は何度も授業を見る機会があるが、他の地域の生徒は限られている。数少ない見学の機会に飛騨神の良さが全て伝わるような、見学に来た生徒の心を驚掴みにするような工夫をお願いします。
- ・ 振興事務所内の PR コーナーをまだまだ活用してください。
- ・ 保護者への PR をお願いしたい。
- ・ 子供 3 名がみんな飛騨神であった。初めの印象と違い、温かく楽しい学校、もっと生徒が増えてほしい。
- ・ 飛騨高山高校がなぜ独り勝ちなのか？飛騨高山が何をやったのか調べて戦略を立ててほしい。